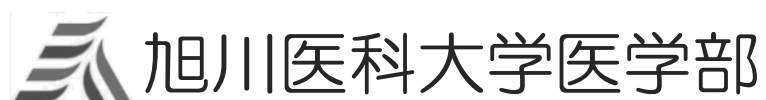


平成31年度学生募集要項(特別入試)



【医学科】 AO入試国際医療人特別選抜

【医学科】 AO入試北海道特別選抜

【医学科】 推薦入試道北・道東特別選抜

【看護学科】 推薦入試

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

本学の教育理念、教育目標に基づくアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）は、次のとおりです。

医師・看護職者としての適性ととも地域社会への関心を持ち、自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力を持つ学生

（具体的な学生像）

I. 「医師・看護職者としての適性」

- ① 病める人に限らず、他者を思いやる心を持つ学生
- ② 人命に限らず、全ての生命の尊厳を理解し、社会的規範・道徳に沿って、自らの行動を律することのできる学生
- ③ 他者を尊重し、良好な関係を築くことのできる社会的能力を持つ学生
- ④ 幅広い分野の教養を身につける努力をしている学生
- ⑤ 最新の知識や技術を身につけるため、学習し続ける学生

II. 「地域社会への関心」

- ① 自らの居住地域及びその住民に対して愛着を持つ学生
- ② 広い地域（北海道や他の都府県、国、世界レベル）の事柄に対して関心を持つ学生
- ③ 医療に限らず、広く地域社会一般の事象に対して関心を持つ学生

III. 「自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力」

- ① 新たな事象に対して、自ら持つ知識・技術を独創的な視点から論理的に応用し、自らにとって未知の問題点を抽出できる学生
- ② 未知の問題点を解決するために行動し、新たに学ぶことのできる学生
- ③ 豊富な知識量のみならず、他の領域への応用など、自らの持つ知識を活用することのできる学生

【入学前に身につけて欲しい能力等】

医学科

- 1 将来医師として、他者に配慮し、自らの行動を律して社会で活動する強い志（「態度」「意欲・関心」）
医師として他の医療職者と協働し、多様な患者さんの診療に従事できるようになるために必要なチーム活動能力、協調性、行動力、意欲
- 2 学んだ知識や技能を論理的に応用して未知の事象を判断し、問題を見つけ解決する能力（「思考・判断」）
自ら学んだ知識・技能を活用するために必要な論理的思考・判断力、応用力、問題抽出力、口頭・文章表現力
- 3 新たな知識や技能を学び続け、身に付ける能力（「知識・技能」）
幅広い分野の最新の知識・技能を身に付けるため、努力し続ける能力

看護学科

- 1 将来看護師、保健師あるいは助産師として、他者に配慮し、自らの行動を律して社会で活動する強い志（「姿勢・態度」「意欲・関心」）
看護師、保健師あるいは助産師として他の医療職者と協働し、多様な人々の看護に従事できるようになるために必要なチーム活動能力、協調性、行動力、意欲
- 2 学んだ知識や技能を論理的に応用して問題を見つけ解決する能力、及び自らの考えを適切に他者に伝える能力（「思考・判断」「表現」）
自ら学んだ知識・技能を活用するために必要な論理的思考・判断力、応用力、問題抽出力、口頭・文章表現力
- 3 新たな知識や技能を学び続け、身に付ける能力（「知識・技能」）
幅広い分野の最新の知識・技能を身に付けるため、努力し続ける能力

高等学校等までの各教科において、医学・看護学を学ぶために必要な幅広い基礎学力と応用力、とりわけ以下の能力を身につけていることを望みます。

1. 国語については、良好な人間関係を形成するために、日本語の内容を正確に理解し、自らの考えを適切に表現するとともに他者の考えを正しく理解できること
2. 地理歴史・公民については、一般社会において主体的に生きるために、良識ある公民として行動できること
3. 数学については、基礎的知識の理解と習得に加え、身の回りの事象を数学的に表現して考察するとともに数学的論拠に基づいて判断できること
4. 理科については、身の回りの事象を自らの知識に基づいて科学的に判断するために、広く自然科学全般について深く洞察できること
5. 英語については、国際社会の人々と良好な人間関係を形成するために、英語の内容を正確に理解し、自らの考えを適切に表現するとともに他者の考えを正しく理解できること

本学のアドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づいて定めております。

本学の教育目標・教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、本学WEBサイト（裏表紙参照）又は大学案内を参照してください。

目次

1	入学定員・入試区分・募集人員・入試日程	1
2	AO入試国際医療人特別選抜（医学科）	2
3	AO入試北海道特別選抜（医学科）	5
4	推薦入試道北・道東特別選抜（医学科）	8
5	推薦入試（看護学科）	11
6	注意事項	13
7	合格発表	16
8	入学手続	16
9	学生納付金・奨学金	17
10	試験会場	18

添付書類

- ① A票（志願書）
- ① B票（写真票）・C票（受験票）・D票（入学検定料振込証明書台紙）
- ② 自己推薦書（自己活動の記録）
- ③ 人物評価書
- ④-1 推薦書（医学科）
- ④-2 志望理由書（医学科）
- ⑤-1 推薦書（看護学科）
- ⑤-2 志望理由書（看護学科）
- ⑥-1 国際社会の医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書
- ⑥-2 地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書
- ⑥-3 地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書
- ⑦ 宛名票
- ⑧ 検定料振込依頼書
- ⑨ センター試験成績請求票貼付台紙

- I 入学願書等提出用封筒（角形2号）
- II 受験票送付用封筒（長形3号）
- III 入学区分シール

○一般入試（前期日程・後期日程）、外国人留学生の要項は別冊です。本要項には含まれておりません。
○この要項は1つの入試区分のみとなります。併願する場合、出願書類は入試区分ごとに必要ですので、本募集要項を入試区分ごとに取り寄せてください。

1 入学定員・入試区分・募集人員・入試日程

1. 入学定員

(名)

学科	入学人員
医学科	107
看護学科	60

※編入学定員は含んでいません。

2. 入試区分・募集人員

(名)

学科	入試区分	募集人員
医学科	AO入試国際医療人特別選抜	5
	AO入試北海道特別選抜	37
	推薦入試道北・道東特別選抜	10
看護学科	推薦入試	10

【注意事項】

- (1) AO入試国際医療人特別選抜とAO入試北海道特別選抜、AO入試北海道特別選抜と推薦入試道北・道東特別選抜の組合せのみ併願可能です。それ以外については認めていません。
- (2) AO入試国際医療人特別選抜、AO入試北海道特別選抜、推薦入試道北・道東特別選抜、推薦入試において合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般入試の前期日程の募集人員に加えます。

3. 入試日程

- (1) 各入試種別の出願は、郵送でのみ受け付けています。
- (2) 各入試種別の出願期間最終日は、書類必着日（郵送）を表し、当該日の17:00までです。
- (3) 合格者には速達郵便で「合格通知書」を送付するとともに、合格者の受験番号を本学WEBサイトに掲載します。
なお、電話等による合否の照会には一切応じていません。

●AO入試国際医療人特別選抜（医学科）

出願期間	試験日	合格発表日時
平成30年10月15日(月)～平成30年10月19日(金)	平成30年11月24日(土)	平成31年2月13日(水) 17:00

●AO入試北海道特別選抜（医学科）

出願期間	試験日	合格発表日時
平成30年 9月25日(火)～平成30年10月 1日(月)	平成30年10月27日(土) 28日(日)	平成31年2月13日(水) 17:00

●推薦入試道北・道東特別選抜（医学科）

出願期間	試験日	合格発表日時
平成30年11月 1日(木)～平成30年11月 7日(水)	平成30年11月24日(土)	平成31年2月13日(水) 17:00

●推薦入試（看護学科）

出願期間	試験日	合格発表日時
平成30年11月 1日(木)～平成30年11月 7日(水)	平成30年11月24日(土)	平成30年12月13日(木) 10:00

2 AO入試国際医療人特別選抜（医学科）

1. 趣旨

旭川医科大学は教育理念・目標に「教育、研究、医療活動を通じて国際社会の発展に寄与する医療人の養成」を掲げています。このコンセプトに沿って、以下のような人材の育成を特に推進するために、AO入試国際医療人特別選抜を実施します。この入試では、将来、国際医療に貢献する強い意欲のある者を選抜することを目的としております。

【旭川医科大学の育成する国際医療人】

①世界水準の医療を実践するため、国際社会で必要な語学力を修得し、臨床医として患者を診療・ケアできる能力 ②最先端医療・医学の研究を、国際学会等で報告し、論文として公表することを通じて医学の発展に寄与できる能力 ③世界の各地における地域医療の問題を抽出し、その解決のために医療のみならず保健・福祉も含めた地域医療を向上させる能力。これらの能力を向上させるため、かつ、旭川医科大学をグローバルに発展させるために、強い志を持ち生涯に亘って学習を続ける人材を求めます。

2. 出願資格及び要件

高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者（平成31年3月までに卒業見込みの者を含む。）*1で、平成31年度大学入学選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 本学への志望動機が明確で、将来、旭川医科大学の国際医療及び国際社会の医療に貢献する強い意欲を持っている者
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていることを自己アピールできる者
- (3) 高等学校等における調査書の全体の評定平均値が4.3以上*2の者で、高等学校等の学級担任教諭及び学級担任教諭以外の理科担当教諭等の計2名が医療職者になるにふさわしい人物であると評価できるもの
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (5) 出願時に「国際医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書[6-1]」を提出できる者

*1 文部科学大臣が認定した在外教育施設を修了又は修了見込みの者を含む。

*2 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二学期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第3学年修了時までのものとする。

【平成31年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目】

受験を要する教科・科目		科目の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、合格候補者から除外されます。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、筆記試験及びリスニングの両方を受験してください。筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算した成績を、素点として利用します。筆記試験又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみを利用します。
- (5) 過年度の大学入試センター試験成績を利用することはできません。

3. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、すべての志願者を対象に、調査書、自己推薦書及び人物評価書の内容により第1次選考を行います。第1次選考合格者にも第2次選考として課題論文試験及び面接試験を実施し、第1次選考結果と併せて志願者の能力、国際医療に貢献する強い意欲及び適性等を総合的に審査し、判定します。

ただし、平成31年度大学入試センター試験を課し、大学の定める基準の85%（合計点1200点中1020点）以上であった者を選抜の対象とします。（大学入試センター試験は、選抜の対象にするか否かの判定のみに用います。）

なお、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

第1次選考の結果は、平成30年11月12日（月）に合格者には受験票を、不合格者には不合格通知書を送付します。受験票もしくは不合格通知書が、平成30年11月19日（月）までに到着しない場合は、至急、本学入試課まで電話連絡してください。

●評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
面接	口頭表現力、意欲、問題抽出力、知識・技能、応用力等を問う

●配点

課題論文	面接	総合点
300	600	900

●大学入試センター試験の配点（大学の定める基準）

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	300	300	300	1200

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、面接の得点の高い順とします。

●併願等について

- (1) このAO入試に不合格となった場合に備えて、一般入試に出願することができます。
- (2) 他の国公立大学・学部のAO入試及び推薦入試との併願は認められません。ただし、本学のAO入試北海道特別選抜との併願は可能です。なお、本学の推薦入試道北・道東特別選抜との併願は認められません。
- (3) 本学のAO入試北海道特別選抜と併願している場合は、AO入試国際医療人特別選抜での選抜を優先し、その後、AO入試北海道特別選抜の選抜を行います。

4. 試験日・試験時間

試験日	科目等	時間
平成30年11月24日（土）	集合時間	9：00まで
	諸注意	9：15～9：30（15分）
	課題論文	9：30～11：30（120分）
	面接	13：00～

5. 出願書類

出願		注意事項	確認
志願票	添付書類：Ⅰ A票	写真を貼付（縦4cm×横3cm白黒又はカラー3ヶ月以内に撮影したもの）	
写真票	添付書類：Ⅰ B票	写真を貼付（縦4cm×横3cm白黒又はカラー3ヶ月以内に撮影したもの）	
受験票	添付書類：Ⅰ C票	入学願書受付後に、受験番号を記入して本人宛に送付します。	
入学検定料振込証明書台紙	添付書類：Ⅰ D票	志願者氏名を記入し、上記の検定料を納付した際に交付される「入学検定料振込証明書」を指定欄に貼付してください。	
自己推薦書	添付書類：Ⅱ	自己活動の記録を含む、5頁全てを提出してください。	
人物評価書	添付書類：Ⅲ	在籍（又は卒業）高等学校の教諭2名が作成し、それぞれ厳封したもの（2部）	
出身学校の調査書		厳封の上、封筒には「調査書在中」と明記してください。	
卒後臨床研修確約・確認書	添付書類：Ⅵ-1	国際社会の医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書です。入試区分により添付書類は相違します。	
受験票送付用封筒	添付書類：Ⅱ	氏名、住所、郵便番号を記入し、指定された箇所に522円分の切手を3枚程度で貼付してください。	
宛名票	添付書類：Ⅶ	氏名、住所、郵便番号を記入してください。	

【注意事項】

- Ⅰ B票・C票・D票は切り離さないでください。
- P13の「6 注意事項」「3.出願書類について」も必ずお読みください。

6. 出願手続

- **入学検定料** 17,000円（銀行振込）
 - ・最寄の金融機関の窓口にて、添付の「振込依頼書」により納付してください。必ず検定料収納印を受けてください。
 - ・入学検定料の納入期間は、出願期間と同じです。
 - ・既納の入学検定料は、いかなる理由があっても返還できません。
 - ・大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合でも入学検定料は返還できません。
- **出願方法** 出願書類は本学所定の入学願書提出用封筒（添付書類等：Ⅰ）に一括して入れ、出願期間内必着で、必ず郵送にて本学に提出してください。
- **出願書類提出先** 〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 旭川医科大学教務部入試課
- **受験票** 試験日の5日前になっても受験票が届かない場合は、入試課までご連絡ください。

7. AO入試国際医療人特別選抜についての留意点

- 外部英語試験の受験
在学中、年1回の受験を義務づけており、その受験料を助成します。
- 語学研修、海外留学等
在学中の1ヶ月～2ヶ月、海外留学等を義務付けており、その費用の一部を助成します。
- 米国で受験するUSMLEのSTEP2～STEP3受験の資金を貸与します。
なお、米国医師国家試験に合格した場合の貸与資金の免除制度も検討しています。

上記、(1)外部英語試験の受験料及び(2)語学研修、海外留学等の費用の助成は、在籍中6年間で1人当たり最大50万円。

8. その他

- 合格発表についてはP16の「合格発表」に記載しています。
- 入学手続書類、入学金等詳細についてはP16の「入学手続」に記載しています。

3 AO入試北海道特別選抜（医学科）

1. 趣旨

北海道には医師が不足している地域が多く存在し、本学卒業生が道内に残って活躍することが道民から強く求められています。そこで、北海道の地域医療に関心を持ち、医師としての適性ととともに、より本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿った北海道出身の学生に入学してもらいたいと願っています。

そのため、北海道の地域医療を理解し、将来北海道の医療に貢献する強い意欲のある者を選抜することとし、意欲、能力、適性、将来性等の視点からAO入試北海道特別選抜を実施します。

2. 出願資格及び要件

北海道に所在する高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者（平成31年3月までに卒業見込みの者を含む。）で、平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 本学への志望動機が明確で、将来医学の分野で北海道の医療及び社会に貢献する強い意欲を持っている者
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていることを自己アピールできる者
- (3) 高等学校等における調査書の全体の評定平均値が4.0以上^{*1}の者で、高等学校等の学級担任教諭及び学級担任教諭以外の理科担当教諭等の計2名が医療職者になるにふさわしい人物であると評価できるもの
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (5) 出願時に「地域医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書[6-2]」を提出できる者

*1 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第3学年修了時までのものとする。

【平成31年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目】

受験を要する教科・科目		科目の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、合格候補者から除外されます。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、筆記試験及びリスニングの両方を受験してください。筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算した成績を、素点として利用します。筆記試験又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみを利用します。
- (5) 過年度の大学入試センター試験成績を利用することはできません。

3. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、課題論文、集団面接、個人面接、平成31年度大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合的に審査し、判定します。ただし、大学入試センター試験の成績が本学の定める基準の75%（合計点1200点満点中900点）未満の場合は、不合格とします。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
集団面接	問題抽出力、口頭表現力、チーム活動能力、協調性、意欲、知識・技能、応用力、実行力、行動力等を問う
個人面接	口頭表現力、意欲等を問う

●配点

科目等			大学入試センター合計点	総合点
課題論文	集団面接	個人面接		
200	300	200	1200	1900

●大学入試センター試験の配点（本学の定める基準）

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	300	300	300	1200

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、課題論文の得点の高い順とし、なお、同順位の場合は、集団面接の評価点の高い順とします。

●併願等について

- (1) このAO入試に不合格となった場合に備えて、一般入試に出願することができます。
- (2) 他の国公立大学・学部のAO入試及び推薦入試との併願は認められません。ただし、本学のAO入試国際医療人特別選抜又は推薦入試道北・道東特別選抜との併願は可能です。
- (3) 本学のAO入試国際医療人特別選抜又は推薦入試道北・道東特別選抜と併願している場合は、AO入試国際医療人特別選抜又は推薦入試道北・道東特別選抜での選抜を優先し、その後、AO入試北海道特別選抜の選抜を行います。

4. 試験日・試験時間

試験日	科目等	時間
平成30年10月27日（土）	集合時間	8：15まで
	諸注意	8：30～9：00（30分）
	集団面接	9：00～
平成30年10月28日（日）	集合時間	1日目終了時にお知らせします
	諸注意	8：30～9：00（30分）
	課題論文	9：15～11：15（120分） 13：15～15：15（120分）
	個人面接	9：00～

【注意事項】

- (1) 課題論文は、午前、午後のどちらかの本学が指定した時間帯での受験となります。
- (2) 集団面接は、異なる課題による面接を複数回実施します。

5. 出願書類

出願		注意事項	確認
志願票	添付書類：Ⅰ A票	写真を貼付（縦4cm×横3cm白黒又はカラー3ヶ月以内に撮影したもの）	
写真票	添付書類：Ⅰ B票	写真を貼付（縦4cm×横3cm白黒又はカラー3ヶ月以内に撮影したもの）	
受験票	添付書類：Ⅰ C票	入学願書受付後に、受験番号を記入して本人宛に送付します。	
入学検定料振込証明書台紙	添付書類：Ⅰ D票	志願者氏名を記入し、上記の検定料を納付した際に交付される「入学検定料振込証明書」を指定欄に貼付してください。	
自己推薦書	添付書類：Ⅱ	自己活動の記録を含む、5頁全てを提出してください。	
人物評価書	添付書類：Ⅲ	在籍（又は卒業）高等学校の教諭2名が作成し、それぞれ厳封したもの（2部）	
出身学校の調査書		厳封の上、封筒には「調査書在中」と明記してください。	
卒後臨床研修確約・確認書	添付書類：Ⅵ-2	地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書です。入試区分により添付書類は相違します。	
受験票送付用封筒	添付書類：Ⅱ	氏名、住所、郵便番号を記入し、指定された箇所に522円分の切手を3枚程度で貼付してください。	
宛名票	添付書類：Ⅶ	氏名、住所、郵便番号を記入してください。	

【注意事項】

- Ⅰ B票・C票・D票は切り離さないでください。
- P13の「6 注意事項」「3.出願書類について」も必ずお読みください。

6. 出願手続

- **入学検定料** 17,000円（銀行振込）
 - ・最寄の金融機関の窓口にて、添付の「振込依頼書」により納付してください。必ず検定料収納印を受けてください。
 - ・入学検定料の納入期間は、出願期間と同じです。
 - ・既納の入学検定料は、いかなる理由があっても返還できません。
 - ・大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合でも入学検定料は返還できません。
- **出願方法** 出願書類は本学所定の入学願書提出用封筒（添付書類等：Ⅰ）に一括して入れ、出願期間内必着で、必ず郵送にて本学に提出してください。
- **出願書類提出先** 〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 旭川医科大学教務部入試課
- **受験票** 試験日の5日前になっても受験票が届かない場合は、入試課までご連絡ください。

7. その他

- 合格発表についてはP16の「合格発表」に記載しています。
- 入学手続書類、入学金等詳細についてはP16の「入学手続」に記載しています。

4 推薦入試道北・道東特別選抜（医学科）

1. 趣旨

本学は、道北・道東地域における高度先端医療の提供と医療過疎の解消を期待し、設置された医療系単科大学です。この趣旨を踏まえて、本学の教育の理念で「地域医療に根ざした医療・福祉の向上に貢献する医療者を育てる。」ことを掲げ、地域医療に根ざした医療人を育成することを使命としています。北海道は札幌・旭川市周辺に医師が集中し、道北・道東地域では医療過疎が進む医師の偏在が社会的な問題となっています。この入試では、道北・道東等の出身者で、将来、当該地域における医療に貢献する強い意欲のある者を選抜することを目的としております。

2. 出願資格及び推薦要件

高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者（平成31年3月までに卒業見込みの者を含む。）^{*1}で、平成31年度大学入学選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 生まれ育った地域^{*2}が、北海道の上川中部を除く^{*3}道北、道東^{*4}並びに北空知及び中空知^{*5}（以下「当該地域」という。）に該当し、将来、当該地域における医療に貢献する強い意欲がある者
- (2) 高等学校又は中等教育学校における調査書の全体の評定平均値が4.3以上^{*6}の者で、人物・学力ともに優秀かつ健康であり、学校長が責任を持って推薦できるもの
- (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (4) 出願時に「地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書⁶⁻³」を提出できる者

^{*1} 文部科学大臣が認定した在外教育施設を修了又は修了見込みの者を含む。

^{*2} 生まれ育った地域とは、志願者が小学校、中学校又は高等学校等のいずれかにおいて教育を受けた経験のある地域で、かつ、父母等（特別な事情がある場合は、祖父母等の保護者）が平成30年11月1日現在で継続して3年以上居住している地域をいう。

^{*3} 上川中部とは、旭川市、東神楽町、東川町、美瑛町、鷹栖町、比布町、愛別町、当麻町及び上川町をいい、二次医療圏として上川中部全体では、人口10万人当たりの医師数が全道平均を上回っているため、除外する。

^{*4} 道北、道東とは、宗谷、上川、オホーツク、釧路及び十勝の各総合振興局並びに留萌及び根室の各振興局をいう。

^{*5} 中空知とは、芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町及び雨竜町の各市町をいう。

^{*6} 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第1学年修了時までのものとする。

【平成31年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目】（前期日程・後期日程）

受験を要する教科・科目		科目の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、合格候補者から除外されます。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、筆記試験及びリスニングの両方を受験してください。筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算した成績を、素点として利用します。筆記試験又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみを利用します。
- (5) 過年度の大学入試センター試験成績を利用することはできません。

3. 推薦人員

本人の強い意欲に基づく学校長推薦とし、学校長が推薦できる人数に制限はありません。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学校長の推薦書、調査書、志望理由書、課題論文、面接試験によって受験者の能力、当該地域における医療に貢献する強い意欲及び適性等を総合的に審査し、判定します。ただし、平成31年度大学入試センター試験を課し、本学の定める基準の75%（合計点900点中675点）以上であった者を選抜の対象とします。（大学入試センター試験は、選抜の対象にするか否かの判定のみに用います。）

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
集団面接	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う
個人面接	口頭表現力、意欲等を問う

※集団面接は、異なる課題による面接を複数回実施します。

●配点

課題論文	集団面接	個人面接	総合点
300	300	300	900

●大学入試センター試験の配点（本学の定める基準）

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	200	200	200	900

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、課題論文の得点の高い順とし、なお、同順位の場合は、集団面接の評価点の高い順とします。

●併願等について

- (1) この推薦入試に不合格となった場合に備えて、一般入試に出願することができます。
- (2) 国公立大学・学部への推薦入試の出願は、1つの大学・学部等に限られています。
- (3) 他の国公立大学・学部のAO入試との併願は認められません。ただし、本学のAO入試北海道特別選抜との併願は可能です。
- (4) 本学のAO入試北海道特別選抜と併願している場合は、推薦入試道北・道東特別選抜での選抜を優先し、その後、AO入試北海道特別選抜の選抜を行います。

5. 試験日・試験時間

試験日	科目等	時間
平成30年11月24日（土）	集合時間	9：00まで
	諸注意	9：15～9：30（15分）
	課題論文	9：30～11：30（120分）
	面接	13：00～

6. 出願書類

出願		注意事項	確認
志願票	添付書類：Ⅰ A票	写真を貼付（縦4cm×横3cm白黒又はカラー3ヶ月以内に撮影したもの）	
写真票	添付書類：Ⅰ B票	写真を貼付（縦4cm×横3cm白黒又はカラー3ヶ月以内に撮影したもの）	
受験票	添付書類：Ⅰ C票	入学願書受付後に、受験番号を記入して本人宛に送付します。	
入学検定料振込証明書台紙	添付書類：Ⅰ D票	志願者氏名を記入し、上記の検定料を納付した際に交付される「入学検定料振込証明書」を指定欄に貼付してください。	
推薦書	添付書類：4-1	出身学校長が作成し、厳封したもの。この要項に同封の「推薦書・調査書の作成について（依頼）」とともに出身学校長に提出してください。	
志望理由書	添付書類：4-2	この要項に同封の所定の用紙を使用してください。	
出身学校の調査書		厳封の上、封筒には「調査書在中」と明記してください。	
住民票等居住証明書		住民票等の保護者の居住を照明できるもの	
卒後臨床研修確約・確認書	添付書類：6-3	地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書です。入試区分により添付書類は相違します。	
受験票送付用封筒	添付書類：Ⅱ	氏名、住所、郵便番号を記入し、指定された箇所に522円分の切手を3枚程度で貼付してください。	
宛名票	添付書類：7	氏名、住所、郵便番号を記入してください。	

【注意事項】

- 1 B票・C票・D票は切り離さないでください。
- P13の「6 注意事項」「3.出願書類について」も必ずお読みください。
- 出身高等学校等が生まれ育った地域以外の場合は、小学校又は中学校の教育を受けた地域が生まれ育った地域であることを証明するもの（例：卒業証書の写し、成績通信簿の写し等）を添付してください。

7. 出願手続

- 入学検定料** 17,000円（銀行振込）
 - ・最寄の金融機関の窓口にて、添付の「振込依頼書」により納付してください。必ず検定料収納印を受けてください。
 - ・入学検定料の納入期間は、出願期間と同じです。
 - ・既納の入学検定料は、いかなる理由があっても返還できません
 - ・大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合でも入学検定料は返還できません
- 出願方法** 出願書類は本学所定の入学願書提出用封筒（添付書類等：Ⅰ）に一括して入れ、出願期間内必着で、必ず郵送にて本学に提出してください。
- 出願書類提出先** 〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 旭川医科大学教務部入試課
- 受験票** 試験日の5日前になっても受験票が届かない場合は、入試課までご連絡ください。

8. その他

- 合格発表についてはP16の「合格発表」に記載しています。
- 入学手続書類、入学金等詳細についてはP16の「入学手続」に記載しています。

5 推薦入試（看護学科）

1. 趣旨

本学では、他者を思いやる心を持ち、看護学に関する勉学意欲が特に強い学生を教育し、将来はその専門分野における実務・指導に携わる看護職者に育成したいと考えています。

そのためこの選抜では、現在、高等学校等で学んでいる生徒の中から、学校長が上記の趣旨に沿っていると責任を持って推薦する者の中から選抜を行います。

2. 出願資格及び推薦要件

高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者で、次の要件を満たす者

- (1) 高等学校又は中等教育学校における調査書の全体の評定平均値が4.0以上^{*1}の者で、人物・学力ともに優秀でかつ健康である者
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていると学校長が責任をもって推薦できる者
- (3) 看護学に関する勉学意欲が特に強く、将来はその専門分野における実務・指導に携わることを決意している者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

^{*1} 「評定平均値」は、第3学年1学期（二学期制の場合は第3学年前期）までのものとする。

3. 推薦人員

高等学校長又は中等教育学校長が推薦できる人数は、1校につき2名以内とします。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学校長の推薦書、調査書、志望理由書及び面接試験によって受験者の能力及び適性等を総合的に審査し、判定します。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●評価項目

試験科目	評価項目
集団面接	問題抽出力、口頭表現力、協調性、知識・技能、応用力等を問う
個人面接	口頭表現力、意欲等を問う

●配点

集団面接	個人面接	総合点
600	300	900

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、集団面接の評価点の高い順とします。

●併願等について

国公立大学・学部への推薦入試の出願は、1つの大学・学部等に限られています。

5. 試験日・試験時間

試験日	科目等	時間
平成30年11月24日（土）	集合時間	8：15まで
	諸注意	8：45～9：00（15分）
	集団面接	9：00～
	個人面接	13：30～

※ 集団面接は、異なる課題による面接を複数回実施します。

6. 出願書類

出願		注意事項	確認
志願票	添付書類：A票	写真を貼付（縦4cm×横3cm白黒又はカラー3ヶ月以内に撮影したもの）	
写真票	添付書類：B票	写真を貼付（縦4cm×横3cm白黒又はカラー3ヶ月以内に撮影したもの）	
受験票	添付書類：C票	入学願書受付後に、受験番号を記入して本人宛に送付します	
入学検定料振込証明書台紙	添付書類：D票	志願者氏名を記入し、上記の検定料を納付した際に交付される「入学検定料振込証明書」を指定欄に貼付してください	
推薦書	添付書類：5-1	出身学校長が作成し、厳封したもの。この要項に同封の「推薦書・調査書の作成について（依頼）」とともに出身学校長に提出してください	
志望理由書	添付書類：5-2	この要項に同封の所定の用紙を使用してください。	
出身学校の調査書		厳封の上、封筒には「調査書在中」と明記してください。	
受験票送付用封筒	添付書類：II	氏名、住所、郵便番号を記入し、指定された箇所に522円分の切手を3枚程度で貼付してください。	
宛名票	添付書類：7	氏名、住所、郵便番号を記入してください。	

【注意事項】

- 1) B票・C票・D票は切り離さないでください。
- 2) P13の「6 注意事項」「3.出願書類について」も必ずお読みください。

7. 出願手続

- 入学検定料 17,000円（銀行振込）
 - ・最寄の金融機関の窓口にて、添付の「振込依頼書」により納付してください。必ず検定料収納印を受けてください。
 - ・入学検定料の納入期間は、出願期間と同じです。
 - ・既納の入学検定料は、いかなる理由があっても返還できません
- 出願方法 出願書類は本学所定の入学願書提出用封筒（添付書類等：I）に一括して入れ、出願期間内必着で、必ず郵送にて本学に提出してください。
- 出願書類提出先 〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 旭川医科大学教務部入試課
- 受験票 試験日の5日前になっても受験票が届かない場合は、入試課までご連絡ください。

8. その他

- 1) 合格発表についてはP16の「合格発表」に記載しています。
- 2) 入学手続書類、入学金等詳細についてはP16の「入学手続」に記載しています。

6 注意事項

1. 大学入試センター試験成績請求票について

医学科を受験する場合、この要項に同封の「大学入試センター試験成績請求票貼付台紙（添付書類⑨）」に、以下のとおり平成31年度センター試験成績請求票を貼付し、必要事項を記入したうえで、提出期限までに「簡易書留」扱いで本学入試課に必ず郵送してください。

- (1) 必要となるセンター試験成績請求票
「国公立推薦用」と「国公立AO用」の2枚
- (2) 提出期限
平成31年 1月 4日（金）17:00まで（必着）

2. 一般入試への出願について

- 医学科を受験し不合格となった場合に備え、本学を含め他の国公立大学・学部が実施する一般入試に出願することができます。ただし、大学入試センター試験の受験を要する教科・科目については、出願する大学の指示に従ってください。
- 本学の一般入試を受験しようとする場合は、平成30年10月に発表予定の「平成31年度学生募集要項（一般入試）」を参照のうえ、あらためて出願してください。

3. 出願書類について

- 書類関係（全般）
 - ・各提出書類の記載内容に相違がないよう、十分に注意・確認をしてください。
 - ・出願書類に不備がある場合は、受理できないことがあります。
 - ・太線内の各項目を、黒のボールペンか黒インクを使用して、楷書で丁寧に記入してください。
なお、※印の欄は記入しないでください。
 - ・一度受理した書類は、理由に関わらず一切返却しません。
 - ・出願書類は本学所定の入学願書等提出用封筒に一括して入れ、出願期間内に本学へ必着するよう提出してください。
 - ・志願票、写真票に貼付する写真（縦4cm×横3cm、正面向き、上半身、脱帽のもの）は、出願日前3ヶ月以内に撮影のものを、裏面に氏名を明記したうえで指定欄に貼付してください。
 - ・氏名、生年月日は、戸籍上のものを記入してください。
 - ・改姓（名）等により調査書等の氏名が異なっている場合は、改姓（名）をした日付と新旧姓（名）を、志願者本人が記した書面（様式任意）を添付してください。
 - ・訂正する場合は、二重線で消し、余白部分に正しく記入してください。訂正印は必要ありません。
 - ・記入事項は、省略しないで正確に記入してください。
 - ・出願書類に虚偽の記載があることが判明した場合、その他不正の事実が認められた場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。また、推薦入試の場合は、翌年度以降、当該高等学校又は中等教育学校からの推薦を受理しないことがあります。
- 書類関係（入学願書）
 - ・本人の連絡先欄の住所は、出願後の照会に必要なため、変更があった場合は直ちに申し出てください。
 - ・選抜結果通知書送付先欄の住所（あて名票と同一）は、選抜結果通知、入学手続書類送付に使用しますので、志願者本人と確実に連絡がとれる場所を記入してください。
なお、志願者本人の連絡先の住所と異なる場合は、この住所の世帯主氏名も併せて記入してください。
- 書類関係（人物評価書）
 - ・学級担任教諭及び学級担任教諭以外の理科担当教諭等の計2名がそれぞれ作成し、厳封したものとします。
 - ・学級担任教諭が転勤等で不在の場合は、志願者の学生生活全般を良く知り得る教諭とします。
 - ・作成にあたっては、志願者の適性、進路等について事例を示すなど出来るだけ具体的に記入してください。

4. 受験について

●本学の受験票について

本学の受験票が、試験期日の5日前までに到着しない場合は、本学入試課まで至急連絡してください。

●試験場及び試験室への入室時間

- 各入試とも、受験票に記載された指定の時間までには、案内掲示等に従い試験室に入室してください。
- 学力試験開始後30分以降の遅刻は、原則受験できません。
- 面接試験は面接集合時間までに入室していない場合は、原則受験できません。
- 入試区分によっては、入室時間になるまで、受験生控室又は指示された場所で待機してもらう場合がありますので、案内掲示等に従ってください。

●昼食

- 試験当日は、受付後から試験終了まで試験場の指定範囲外へは出られません。昼食は各自持参してください。

●持物

- 試験当日は、受験票を必ず持参してください。受験票裏面には、「受験者心得」が記載されているので、よく読んでおいてください。
- 受験票を紛失又は忘れた場合は、試験室へ入室する前に、係員へ申し出てください。
- 各入試とも、受験当日は筆記用具を持参してください。
- 試験会場は土足のまま入場できますので上履きは必要ありません。
- 携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末及び音楽プレーヤー等のすべての電子機器は、試験場に入る前にアラームを解除したうえで電源を切り、かばんにしまって身につけないでください。これらの電子機器を係員の許可無く試験場内で使用することはできません。また、使用した場合や鳴動した場合は不正行為となることがありますので、十分に注意してください。

●試験に関する注意事項

- 各入試とも試験開始後、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類の使用を禁止します。
- 各入試とも試験中は、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式を除く）、時計（計時機能だけのもの）、受験票及びその他本学が指定したもの以外を机の上に置くことはできません。
- 受験者が不正行為を行ったと本学が判断した場合は、それ以降の受験は認められず失格となります。
- 試験科目の1科目でも受験しなかった場合は合格候補者とならず、また、それ以降の科目の受験も認めません。
- 試験途中の退室は認めません。
- 災害、感染症の拡大等、不測の事態が発生した場合は、試験日程等を変更することがあります。その場合は、本学WEBサイトに情報を掲載してお知らせしますので、あらかじめご承知おき願います。

5. 受験に際し、特別な配慮を希望する方へ

疾病・負傷や身体障がいのために、回答方法、試験室、座席及び所持品等について、特別な配慮を希望する方は、出願期間開始の2週間前までに、申請書（様式任意）に医師の診断書等を添付して申し出てください。申し出内容を確認の上、試験の公平性を確保できる範囲で配慮可能な方法を検討します。

また、入学後の学習や学生生活などについては通年で相談に応じています。

【申請書の記載内容例】

- (1) 病気・負傷や障がい等の種類・程度
- (2) 受験上特別な配慮を希望する事項
- (3) 修学上特別な配慮を希望する事項
- (4) 高等学校等でとられていた特別措置
- (5) 日常生活の状況

6. 個人情報の取扱いについて

本学が保有する個人情報は「独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「旭川医科大学個人情報管理規程」に基づき、次のとおり、個人情報の保護に万全を期しています。

また、入学試験にかかる出願書類等及び入学に必要な関係書類が、志願者から提出された時点で、以下の内容について志願者本人から同意を得たものとみなします。

- (1) 入学志願者から得られた出願書類等に記載されている個人情報については、本学の入学者選抜、入学後の学籍管理等諸業務、入学者選抜方法にかかる調査・研究及びこれらに関連する業務を行うために利用します。
- (2) (1)の個人情報のうち入学手続を完了した者の情報を、本学学生会及び同窓会等からの連絡に使用します。また、医学科AO入試及び推薦入試で提出された「卒後臨床研修確約・確認書」については、本学が、卒業後の動向を確認する為に利用することがあります。
- (3) 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、各入試区分での合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

7. 入学試験個人成績等の開示について

各入学試験の得点について、受験生本人からの申請に限り開示します。なお、申請に際しては、本学が実施する入学試験の受験票が必要となりますので、紛失しないよう、大切に保管してください。

- (1) 申請受付期間は試験実施翌年度の4月上旬～5月上旬です。詳細は本学WEBサイトで案内いたします。
- (2) 本学WEBサイトの案内に従い、ダウンロードした申請書に記載して、必ず郵送で申請してください。

【入試成績の開示請求について】

http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/nyusi/contents/result_disclosure.php

8. 試験実施に関する情報及び問合せ先

試験実施に関する情報は、試験前日又は当日に本学WEBサイトで公開しますので、必ず確認してください。

【本学WEBサイト】 <http://www.asahikawa-med.ac.jp/>

【本学大学案内】 <http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/nyusi/>

【ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、カリキュラムマップ】

http://www.asahikawa-med.ac.jp/index.php?f=education_science+policy

【お問合せ先】

〒078-8510

旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

旭川医科大学教務部入試課入学試験係

TEL：0166-68-2214（直通）

7 合格発表

1. 合格発表

- (1) 合格者には速達郵便で「合格通知書」を送付するとともに、合格者の受験番号を本学WEBサイトに掲載します。
また、推薦入試に限り、出身学校長宛にも判定結果を郵便で通知します。
- (2) 合格者には入学手続に関する書類一式も併せて送付します。
- (3) 判定結果について、電話等による問い合わせには一切お答えできません。
- (4) 推薦入試（看護学科）の合格者を対象に入学前教育を実施しています。詳細は後日お知らせします。

8 入学手続

1. 入学手続

- (1) 各入試の合格者は、所定の期限までに学生納入金を納入し、入学関係書類を提出してください。
なお、入学関係書類に不備がある場合は受理できません。また、期限までに所定の手続を終えない場合は、入学辞退とみなし入学資格を取り消します。
- (2) 入学手続に必要な書類等
 - ・ 本学の受験票
 - ・ 平成31年度大学入試センター試験受験票
 - ・ 入学料の納付
- (3) 入学手続に際しての留意事項
 - ・ 合格者は、入学辞退の許可を得た者を除き、本学及び他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者の対象となりません。
 - ・ 合格者が入学手続完了後、当該高等学校等を卒業又は修了できなかった場合には、入学許可を取り消します。
- (4) 他大学に在籍している場合の入学手続に際しての留意事項
 - ・ 本学入学の際、同時に他の大学にも在籍することは、少なくとも本学の修学目的は達成できないと判断されますので、入学時には「退学証明書」の提出が必要です。入学前までに在籍中の大学で退学の手続を完了してください。退学証明書の提出時期や詳細については、本学入試課までにお問い合わせください。
- (5) 推薦入試の合格者で、入学の確約に違約した場合には、翌年度以降、当該高等学校又は中等教育学校からの推薦を受理しないことがあります。

2. 入学辞退

合格した者で、特別の事態が生じ入学を辞退する場合は、「入学辞退願」（様式は任意）^{*1}にその理由を付して、期日までに本学学長に願い出てください。この願い出により、相当な理由があると本学学長が認めた場合には、入学辞退を許可することがあります。なお、入学手続完了後に入学を辞退した場合、納付した入学料及び提出書類等は、いかなる理由があっても返還できません。

^{*1} 推薦入試の合格者の場合は、推薦した学校長が署名・捺印した「入学辞退願」（様式任意）。

【入学手続期間及び辞退届提出期限】

学科	入試区分	入学手続期間	辞退届提出期限
医学科	AO入試国際医療人特別選抜	平成31年 2月14日(木)～平成31年 2月19日(火)	平成31年 2月19日(火)
	AO入試北海道特別選抜	平成31年 2月14日(木)～平成31年 2月19日(火)	平成31年 2月19日(火)
	推薦入試道北・道東特別選抜	平成31年 2月14日(木)～平成31年 2月19日(火)	平成31年 2月19日(火)
看護学科	推薦入試	平成30年12月14日(金)～平成30年12月20日(木)	平成30年12月20日(木)

【注意事項】

- (1) 手続期間中、窓口での受け付けは、土日祝日を除く、平日の9:00～17:00です。
- (2) 手続期間の最終日は、書類必着日（窓口及び郵送）を表し、当該日の17:00までです。

9 学生納付金・奨学金

1. 学生納付金

(1) 入学料 282,000円

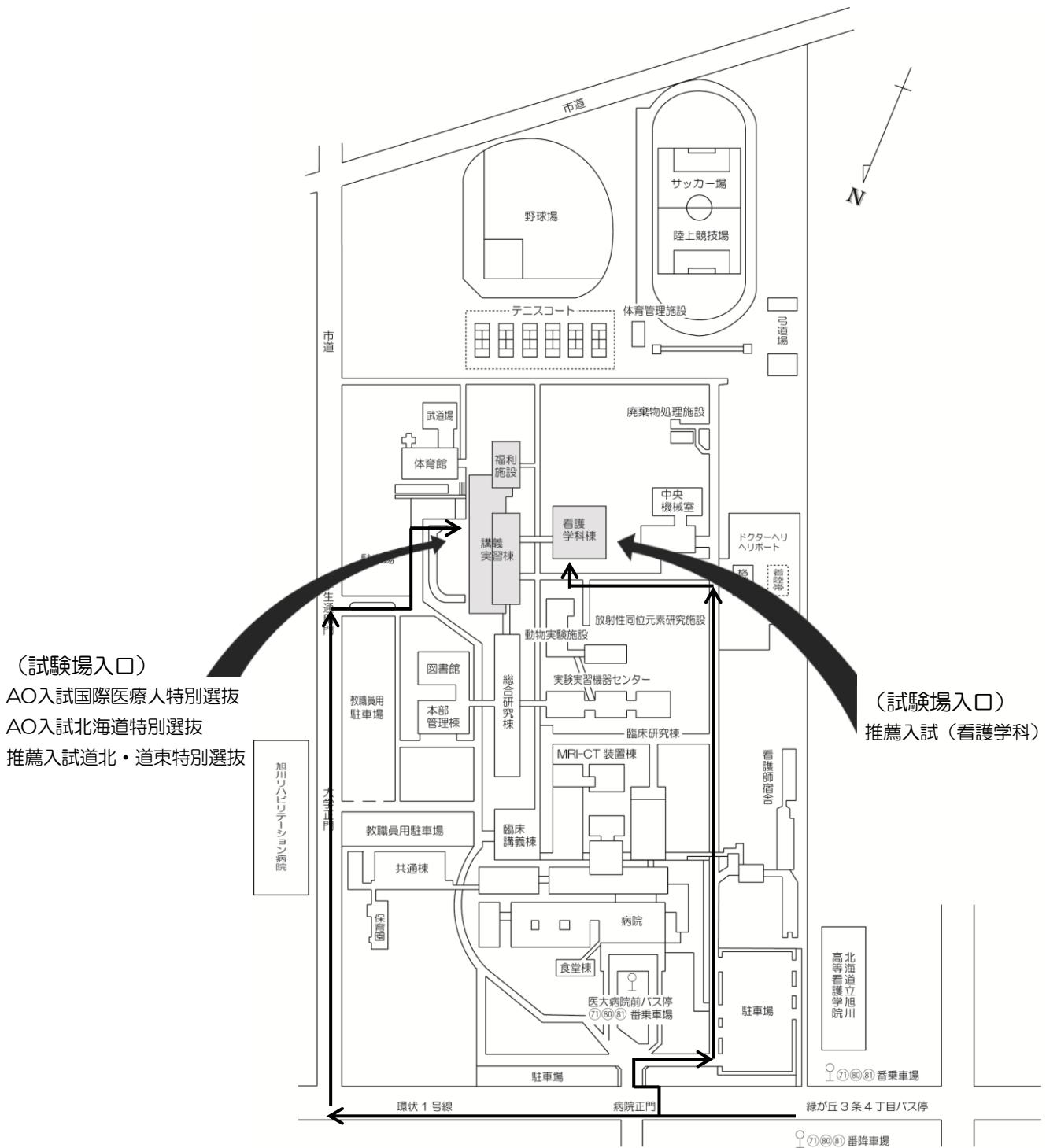
(2) 授業料 267,900円（前期分） 535,800円（年額）

- 上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。
- 入学料の納付の時期は、入学手続き時です。
- 授業料の納付の時期については、前期は4月、後期は10月です。ただし、入学日を含む期は、さらに1ヶ月後になります。なお、希望により前期分の納付の際に、後期分も併せて納付することができます。
- 入学料及び授業料の納付方法については、合格者に別途通知します。
- 入学料及び授業料には免除及び徴収猶予等の制度があり、これに関する手続等については、合格者に別途通知します。
- 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還できません。

2. 本学の奨学金貸与制度

医学科の学生で、他の奨学金（日本学生支援機構等）の貸与を受けても、なお特別な理由により、困窮度が高いと認められる学生に対し、経済的支援により学習に専念できる環境の整備を図るための奨学資金貸与制度があります。

10 試験会場



【注意事項】

- (1) 受験者は試験当日以外、建物の中は立入禁止となります。受験者は必ず「試験場入口」から入場してください。
- (2) 矢印(←)は、試験場入口までの徒歩による順路です。病院の入口等から入場した場合、迷う可能性がありますので、必ず上記順路で入場してください。
- (3) 試験場入口の駐車場は、教職員駐車場となりますので、自家用車で来場される場合は本学病院駐車場をご利用ください。なお、30分まで無料ですが、30分を超え1時間まで200円、それ以降1時間毎に100円の利用料金がかかります。
- (4) 本学までのアクセスについては、本学WEBサイトでご確認ください。

※出願する入試区分の番号に○を付けたのち、この場所に同じ入試区分シールを貼付してください。

平成31年度 旭川医科大学志願票

※出願する区分に○をつけてください。

入試区分	1. AO入試国際医療人特別選抜 2. AO入試北海道特別選抜 3. 推薦入試道北・道東特別選抜 4. 推薦入試（看護学科）
------	---

写真貼付欄
 (以下の写真を貼り付けてください)
 ・出願以前3か月以内に撮影したもの
 ・正面向き、上半身、脱帽のもの
 ・裏面に氏名を明記したもの
 ・縦4cm×横3cm

フリガナ		性別
氏名		男・女
生年月日	平成 年 月 日	
現住所	〒 都・道・府・県	
電話番号	() —	
携帯電話	() —	

出願資格	高等学校等	都・道・府・県		高等学校
		平成 年 月	卒業見込み・卒業・修了見込み・修了	学 校
	※ 3. 推薦入試道北・道東特別選抜に出願する者は、以下も記入して下さい。			
	募集要項p.8 「2.出願資格及び推薦要件」の(1)に該当する生まれ育った地域の学校	小学校	在学期間	H 年 月 ~ H 年 月
	中学校		H 年 月 ~ H 年 月	
	高等学校		H 年 月 ~ H 年 月	
募集要項p.8 「2.出願資格及び推薦要件」の(1)に該当する父母等の現在の在在期間		年		

保護者	フリガナ		続柄
	氏名		
	現住所	〒 都・道・府・県 ※志願者と同じ場合は記入する必要はありません。	
	電話番号	() —	
	携帯電話	() —	

ここから切り離して提出して下さい。

1 B票

※出願する入試区分の番号に○を付けたのち、この場所に同じ入試区分シールを貼付してください。

平成31年度 旭川医科大学写真票

入試区分	1. AO入試国際医療人特別選抜 2. AO入試北海道特別選抜 3. 推薦入試道北・道東特別選抜 4. 推薦入試（看護学科）		
フリガナ		性別	
氏名			
生年月日	平成	年	月 日
高等学校等	平成	年	月
	卒業見込み・卒業・修了見込み・修了		

写真貼付欄

志願票の写真と同じものを貼ってください。縦4cm×横3cm

切り離さないでください。

1 C票

※出願する入試区分の番号に○を付けたのち、この場所に同じ入試区分シールを貼付してください。

平成31年度 旭川医科大学受験票

入試区分	1. AO入試国際医療人特別選抜 2. AO入試北海道特別選抜 3. 推薦入試道北・道東特別選抜 4. 推薦入試（看護学科）		
フリガナ		性別	
氏名			
生年月日	平成	年	月 日

1 D票

平成31年度 旭川医科大学
入学検定料振込証明書台紙

受験番号	
カナ氏名	
入試区分	1. AO入試国際医療人特別選抜 2. AO入試北海道特別選抜 3. 推薦入試道北・道東特別選抜 4. 推薦入試（看護学科）

入学検定料振込証明書貼付欄

ここに入学検定料振込証明書を貼ること。

※収納印が押されていない場合は受理できないので注意してください。

切り離さないでください。

ここから切り離して提出して下さい。

..... 切り離さないでください。

受験者心得

1. この受験票を携帯しない者は、試験場内に入ることができません。
2. 試験当日は、午前7時50分から試験場内に入ることができます。集合時間までに試験室又は控室に集合してください。
3. 課題論文試験時間中（医学科）は、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式を除く）、時計（計時機能だけのもの）、受験票及びその他本学が指定したものの以外の携行品を机の上に置くことはできません。
4. 受験者が不正行為を行ったと本学が判断した場合は、それ以降の受験は認められず失格となります。
5. 課題論文（医学科）、面接試験の1科目でも受験しなかった場合は合格候補者とならず、また、それ以降の科目の受験も認めません。
6. 携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末及び音楽プレーヤー等のすべての電子機器は、試験場内に入る前にアラームを解除したうえで電源を切って、かばんにしまっておいてください。これらの電子機器を係員の許可無く、試験場内で使用することはできません。また、使用した場合や鳴動した場合は不正行為となることがありますので、十分注意してください。
7. 試験途中の退室は認めません。
8. 試験当日は、受付後から試験終了まで試験場の指定範囲外へは出られません。屋食は各自持参してください。
9. この受験票は入学手続及び入試成績（個人情報）の開示の際にも必要となりますので紛失しないよう注意してください。
10. 自家用車で来場される場合は、本学病院駐車場をご利用ください（30分まで無料、30分を超え1時間まで200円、それ以降1時間増毎に100円）。

受験番号	※記入しないでください
------	-------------

自己活動の記録

1 学校内における活動

(1) クラブ活動（文化活動・スポーツ活動）

大会名等	学年	主催機関名	出場者数 (個人・団体)	あなたの地位 (ポジション)	成績

(2) 生徒会活動、その他の学校内の経験

期 間	学年	活動内容（役職等）
平成 年 月 ～ 平成 年 月		
平成 年 月 ～ 平成 年 月		

2 個人として参加した各種競技、コンクール、展覧会、懸賞論文等

期 日	学年	競技、コンクール、展覧会等の名称	主催機関名	成績
平成 年 月				
平成 年 月				

3 ボランティア活動

期 間	学年	活動内容（頻度）	活動団体名
平成 年 月 ～ 平成 年 月			
平成 年 月 ～ 平成 年 月			

4 資格、検定、段位等の取得

取 得 期	学年	資格等の名称	資格級位
平成 年 月			
平成 年 月			

5 上記の活動以外の活動について、あなたが努力してきたこと及びその成果がありましたらお書きください。
（上記活動で書ききれない場合は、この欄を使用してください。）

自己推薦書の記入に当たっては以下の点に留意してください。

- 1 旭川医科大学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていることをアピールしてください。本学のアドミッション・ポリシーは「医師・看護職者としての適性とともに関心を持ち、自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力を持つ学生」です。具体的な学生像として『Ⅰ. 医師・看護職者としての適性』、『Ⅱ. 地域社会への関心』、『Ⅲ. 自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力』（詳細な内容については、本募集要項2～3ページの「アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）」参照）を挙げています。自己推薦書では、これらを踏まえて自分がアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていることをアピールしてください。
- 2 前項1のとおり自分がアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていることについて、①思うようになった経緯を含めて、②具体的事例・活動等（次項3参照）を例に挙げ、論理的かつ明確に記載してください。（具体的な学生像すべての内容について沿っているかを記載する必要はありません。自分が特にアピールできる部分のみ、記載してください。）また、③将来、あなたが北海道で医師として地域医療にどのように貢献しようとしているのかを記入してください。
- 3 「具体的事例・活動等」として高等学校までのあなたの活動（学業活動または課外活動、自分が努力してきたこと等）があれば、それらを例に挙げて、記載してください。多方面での活動があるなら、それを記載しても結構です。詳細については、5ページの「自己活動の記録」の該当する欄に記入し、そこから引用してください。（自己推薦書の中で詳細を述べる必要はありません。）また、特に該当がない場合、および自己推薦書の中で引用する必要がない場合は、「自己活動の記録」は記入しなくても構いません。
- 4 全体の字数は2,500字以内としてください。手書きでもパソコン等を使用しても結構です。手書きの場合は黒ボールペンか黒インクを用いてください。パソコン等を使用した場合は、プリントアウトしたものを貼り付けてください。その際、様式の枠内に収まるように注意してください。

※記入の有無に関わらず、自己推薦書3枚（6ページ全て）を所定の封筒に入れて提出してください。

旭川医科大学長

調査書の作成について（依頼）

このことについて、文部科学省を定めた様式により、下記事項に御留意のうえ、作成していただきますようお願いいたします。

記

I 調査書作成上の注意

1. 「2. 各教科・科目等の学習の記録」について
各教科・学習の記録は、卒業見込みの者は第3学年1学期（二期制の場合は第3学年前期）まで、卒業した者は第3学年終了時までのものを記載願います。
2. 「3. 各教科の評定平均値」について
各教科の評定平均値及び全体の評定平均値の算出・記載に誤りのないよう特に留意願います。
3. 「4. 学習成績概評」について
学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物・学力ともに優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㊤と標示のうえ、「備考」の欄にその理由を明示願います。

旭川医科大学長

AO入試人物評価書の作成について（依頼）

このことについて、下記事項に御留意のうえ、作成していただきますようお願いいたします。

記

Ⅰ 作成者について

1. 作成者は、学級担任教諭及び学級担任教諭以外の理科担当教諭等の計2名でお願いいたします。
2. 学級担任教諭が転勤等で不在の場合は、志願者の学生生活全般を良く知り得る教諭でお願いいたします。

Ⅱ 作成上の注意

1. 志願者の「人物評価と適性」については、事例を示すなど出来るだけ具体的に記入してください。
なお、パソコン等で作成し、プリントしたものを貼付したり、人物評価書に直接印刷してもかまいません。
2. 作成後は厳封した後、本人にお渡しください。

人物評価書

作成年月日 平成 年 月 日

志願者氏名		生年月日	平成 年 月 日
-------	--	------	----------

高等学校名		電話番号	
評価者職名		評価者氏名	⑧
志願者との関係	<input type="checkbox"/> 学級担任 <input type="checkbox"/> 理科担任（科目名： ） <input type="checkbox"/> 課外活動担当教諭 <input type="checkbox"/> その他（ ）		

1. 意思の確認

志願者が受験する選抜試験では、以下のとおり選抜要件としています。
このことを志願者に確認してください。

- AO入試国際医療人特別選抜
将来、旭川医科大学の国際医療に貢献する強い意欲を持っている者
- AO入試北海道特別選抜
将来、旭川医科大学が行う北海道の地域医療に貢献する強い意欲を持っている者

確認した

2. 人物評価と適性

志願者の人物評価（長所・短所）及び医療職者としての適性について記入してください。

3. 多様な活動等に関して評価する事項があれば記載してください。
（部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等）

旭川医科大学長

推薦書・調査書の作成について（依頼）

このことについて、下記事項に御留意のうえ、作成していただきますようお願いいたします。

記

I 推薦書作成上の注意

1. 推薦する理由
将来、志願者が生まれ育った地域での地域医療に貢献するとして推薦される理由、医師としての能力及び適性があると認められる理由等をわかりやすく記入してください。
2. 人物について
 - (1) 本人の生活態度・クラブ活動・趣味等について記入してください。
 - (2) 長期欠席（1週間以上）の事実があれば、その理由（病気の場合は病名）を記入してください。
 - (3) その他特記すべき事項があれば、記入してください。
3. 学業について
学年ごとの学年全体での成績順位（何人中何番）又はクラスでの成績順位（何人中何番）を記入してください。順位が出ていない場合は、推定の順位を記入してください。
4. その他
面接の際には、推薦書に記載された内容を参考として質問することがあります。

II 調査書作成上の注意

文部科学省の定めた様式により、次の事項に留意いただいたうえで作成願います。

1. 「2. 各教科・科目等の学習の記録」について
各教科・学習の記録は、第3学年1学期（二期制の場合は前期）までのものを記載願います。
2. 「3. 各教科の評定平均値」について
各教科の評定平均値及び全体の評定平均値の算出・記載に誤りのないよう特に留意願います。
3. 「4. 学習成績概評」について
学省成績概評Aに属する生徒のうち、人物・学力ともに特に優秀な者については、「学省成績概評」の欄に㊤と標示のうえ、「備考」欄にその理由を明示願います。

2. 人物について

3. 学業について

4. その他

旭川医科大学長

推薦書・調査書の作成について（依頼）

このことについて、下記事項に御留意のうえ、作成していただきますようお願いいたします。

記

I 推薦書作成上の注意

推薦書の各項目についてすべて記入し、単に「まじめである」、「よく活動する」というような概評ではなく、具体的事項をあげて記入してください。

1. 推薦する理由

志願者が本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）（別紙）に沿っていると思われることを学校生活の具体的事実をあげて記入してください。

2. 学業

学年ごとの学年全体での成績順位（何人中何番）及びクラスでの成績順位（何人中何番）を記入してください。順位が出ていない場合は、推定の順位を記入してください。

3. 人物

調査書と重複しないよう、具体的かつ詳細に記入してください。

4. 課外活動・クラス役員など

項目ごとにそれぞれ記入してください。

（1）学年ごとのホームルームにおける役職とその活動状況

（2）全校的な役員をしたことがあれば、学年と役職名及びその活動状況

（3）所属クラブ名とその活動状況（役職名、部員数、大会等の出場歴、成績、記録等）

（4）ボランティア等の社会活動、その他校外での活動等があれば、加入団体名、役職、活動状況（参加の頻度、規模等）

（5）本人の特技、資格・免許（英検○級、柔道○段、囲碁○段等）、表彰、その他特記すべき事項

5. 生活状況等

（1）本人の生活態度、趣味等について記入してください。

（2）その他特記すべき事項があれば、記入してください。

6. その他

面接の際には、推薦書に記載された内容を参考として質問することがありますので、留意願います。

II 調査書作成上の注意

文部科学省の定めた様式により、次の事項に留意いただいたうえで作成願います。

1. 「2. 各教科・科目等の学習の記録」について

各教科・学習の記録は、第3学年1学期（二期制の場合は前期）までのものを記載願います。

2. 「3. 各教科の評定平均値」について

各教科の評定平均値及び全体の評定平均値の算出・記載に誤りのないよう特に留意願います。

3. 「4. 学習成績概評」について

学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物・学力ともに特に優秀な者については、「学習成績概評」の欄に㊸と標示のうえ、「備考」欄にその理由を明示願います。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

医師・看護職者としての適性とともに関心を持ち、自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力を持つ学生

（具体的な学生像）

I. 『医師・看護職者としての適性』

- ① 病める人に限らず、他者を思いやる心を持つ学生
- ② 人命に限らず、全ての生命の尊厳を理解し、社会的規範・道徳に沿って、自らの行動を律することができる学生
- ③ 他者を尊重し、良好な関係を築くことのできる社会的能力を持つ学生
- ④ 幅広い分野の教養を身につける努力をしている学生
- ⑤ 最新の知識や技術を身につけるため、学習し続ける学生

II. 『地域社会への関心』

- ① 自らの居住地域及びその住民に対して愛着を持つ学生
- ② 広い地域（北海道や他の都府県、国、世界レベル）の事柄に対して関心を持つ学生
- ③ 医療に限らず、広く地域社会一般の事象に対して関心を持つ学生

III. 『自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力』

- ① 新たな事象に対して、自ら持つ知識・技術を独創的な視点から論理的に応用し、自らにとって未知の問題点を抽出できる学生
- ② 未知の問題点を解決するために行動し、新たに学ぶことのできる学生
- ③ 豊富な知識量のみならず、他の領域への応用など、自らの持つ知識を活用することのできる学生

【入学前に身につけて欲しい能力等】

医学科

- 1 将来医師として、他者に配慮し、自らの行動を律して社会で活動する強い志（「態度」「意欲・関心」）
医師として他の医療職者と協働し、多様な患者さんの診療に従事できるようになるために必要なチーム活動能力、協調性、行動力、意欲
- 2 学んだ知識や技能を論理的に応用して未知の事象を判断し、問題を見つけ解決する能力（「思考・判断」）
自ら学んだ知識・技能を活用するために必要な論理的思考・判断力、応用力、問題抽出力、口頭・文章表現力
- 3 新たな知識や技能を学び続け、身に付ける能力（「知識・技能」）
幅広い分野の最新の知識・技能を身に付けるため、努力し続ける能力

看護学科

- 1 将来看護師、保健師あるいは助産師として、他者に配慮し、自らの行動を律して社会で活動する強い志（「姿勢・態度」「意欲・関心」）
看護師、保健師あるいは助産師として他の医療職者と協働し、多様な人々の看護に従事できるようになるために必要なチーム活動能力、協調性、行動力、意欲
- 2 学んだ知識や技能を論理的に応用して問題を見つけ解決する能力、及び自らの考えを適切に他者に伝える能力（「思考・判断」「表現」）
自ら学んだ知識・技能を活用するために必要な論理的思考・判断力、応用力、問題抽出力、口頭・文章表現力
- 3 新たな知識や技能を学び続け、身に付ける能力（「知識・技能」）
幅広い分野の最新の知識・技能を身に付けるため、努力し続ける能力

高等学校等までの各教科において、医学・看護学を学ぶために必要な幅広い基礎学力と応用力、とりわけ以下の能力を身につけていることを望みます。

1. 国語については、良好な人間関係を形成するために、日本語の内容を正確に理解し、自らの考えを適切に表現するとともに他者の考えを正しく理解できること
2. 地理歴史・公民については、一般社会において主体的に生きるために、良識ある公民として行動できること
3. 数学については、基礎的知識の理解と習得に加え、身の回りの事象を数学的に表現して考察するとともに数学的論拠に基づいて判断できること
4. 理科については、身の回りの事象を自らの知識に基づいて科学的に判断するために、広く自然科学全般について深く洞察できること
5. 英語については、国際社会の人々と良好な人間関係を形成するために、英語の内容を正確に理解し、自らの考えを適切に表現するとともに他者の考えを正しく理解できること

本学のアドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づいて定めております。

本学の教育目標・教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、本学WEBサイト（裏表紙参照）又は大学案内を参照してください。

4. 課外活動・クラス委員など

(1) ホームルームにおける役員について

--

(2) 全校的な役員について

--

(3) クラブ活動について

--

(4) ボランティア活動等の校外での活動について

--

(5) 特技、資格・免許、表彰、その他特記すべきこと

--

5. 生活状況等

--

平成31年度旭川医科大学AO入試国際医療人特別選抜 国際医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、国際社会の医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学の国際医療に貢献する。

平成 年 月 日

志願者

住所

氏名（自筆）㊟

生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は志願者 _____ が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、国際社会の医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学の国際医療に貢献する。

平成 年 月 日

保護者等

住所

氏名（自筆）㊟

※留意事項

- (1) 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- (2) 本用紙に記載の個人情報については、本学が、卒業後の動向を確認する為に利用することがあります。
- (3) 初期臨床研修、後期臨床研修は、それぞれ本学の卒業臨床研修センター、専門医育成管理センターのプログラムを受けるものとします。

平成31年度旭川医科大学AO入試北海道特別選抜 地域医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学が行う北海道の地域医療に貢献する。

平成 年 月 日

志願者

住所

氏名（自筆）

㊞

生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は志願者 が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学が行う北海道の地域医療に貢献する。

平成 年 月 日

保護者等

住所

氏名（自筆）

㊞

※留意事項

- (1) 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- (2) 本用紙に記載の個人情報については、本学が、卒業後の動向を確認する為に利用することがあります。
- (3) 初期臨床研修、後期臨床研修は、それぞれ本学の卒業臨床研修センター、専門医育成管理センターのプログラムを受けるものとします。

平成31年度旭川医科大学推薦入試道北・道東特別選抜 地域医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学が行う道北・道東の地域医療に貢献する。

平成 年 月 日

志願者

住所

氏名（自筆）㊟

生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は志願者 _____ が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後の後期臨床研修も旭川医科大学病院を中心として受け、将来は旭川医科大学が行う道北・道東の地域医療に貢献する。

平成 年 月 日

保護者等

住所

氏名（自筆）㊟

※留意事項

- 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- 本用紙に記載の個人情報については、本学が、卒業後の動向を確認する為に利用することがあります。
- 初期臨床研修、後期臨床研修は、それぞれ本学の卒業臨床研修センター、専門医育成管理センターのプログラムを受けるものとします。

お問合せ先

旭川医科大学教務部入試課入学試験係
〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号
TEL : 0166-68-2214 (直通) (平日9:00~17:00)



【本学WEBサイト】 <http://www.asahikawa-med.ac.jp/>
【本学大学案内】 <http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/nyusi/>